

令和元年度（2019年度）八王子市青少年問題協議会 第1回検討会 会議録

名称： 令和元年度（2019年度）八王子市青少年問題協議会第1回検討会

日時： 令和元年（2019年）7月26日（金）午前10時～12時

場所： 八王子市役所本庁舎7階702会議室

次 第

- 1 挨拶
- 2 第158回八王子市青少年問題協議会の協議内容・報告
- 3 青少年健全育成基本方針の改定について
- 4 令和元年度（2019年度）重点目標「みんなでつないでいこう 思いやりの心」の取組状況について
- 5 八王子市青少年健全育成基本方針令和2年度（2020年度）重点目標の考案にあたって
 - （1） 青少年を取り巻く問題
 - （2） 令和2年度（2020年度）重点目標の方向性（案）
- 6 情報提供
 - （1） 最近の青少年の非行情勢について
 - （2） 「夏休み子どもを取り巻く事故・犯罪ゼロ作戦」の実施について
 - （3） その他

【出席】

八王子市青少年対策地区委員会連絡会代表	中原 教智	委員
八王子地区保護司会代表	内田 實	委員
八王子市内私立中学高等学校校長代表	金子 重雄	委員
八王子市立中学校長会代表	清水 和彦	委員
八王子市青少年育成団体連絡協議会	井上 正司	委員
南大沢警察署生活安全課長代理	比嘉 健二	委員
高尾警察署生活安全課少年第一係	高崎 勉	委員
八王子市健康部生活衛生課長	及川 憲一	委員
八王子市生活安全部防犯課長	福島 義文	委員
八王子市子ども家庭部子どものしあわせ課長	澤田 正一	委員

出席 10 名

(事務局) 子ども家庭部児童青少年課

後藤、濱、松日樂

【配布資料】

- (1) 令和元年度(2019年度)八王子市青少年問題協議会第1回検討会 次第及び資料
- (2) 第158回青少年問題協議会会議録
- (3) 八王子市青少年健全育成基本方針令和元年度(2019年度)重点目標リーフレット
- (4) 八王子市青少年健全育成基本方針令和元年度(2019年度)重点目標「みんなでつないでいこう思いやりの心」に関する取組の実施状況及び計画について 各機関・団体からの回答一覧
- (5) 「夏休み子どもを取り巻く事故・犯罪ゼロ作戦」に係るリーフレット(地域の目で子ども達を見守ろう!と書いてあるもの)
- (6) 八王子市立中学校PTA連合会「第1回保護者ミーティング」開催のお知らせ

【議事要点】

1 挨拶

2 第 158 回八王子市青少年問題協議会の協議内容・報告

資料に基づき第 158 回八王子市青少年問題協議会での協議等について要点を事務局から報告

→委員からの意見等なし

3 青少年健全育成基本方針の改定について

資料に基づき事務局から説明

→委員からの意見等なし

検討会として基本方針を継続することです承。

4 令和元年度(2019年度)重点目標「みんなでつないでいこう 思いやりの心」の取組状況について

資料に基づき事務局から説明

→委員からの意見等なし。

検討会として内容について了承。

5 八王子市青少年健全育成基本方針令和 2 年度(2020 年度)重点目標の考案にあたって

(1) 青少年を取り巻く問題

資料に基づき事務局から説明

【中原委員】

将来的な話になるが、多文化共生の観点も取り入れる必要があるのではないか。両親が外国人で日本語が話せない子どもも学校に通ってくる。こういった子どもたちに対する取組みも必要になってくると思う。

先日東京都の会議に出席してきたが、そこで問題になっていたのが、外国人のごみ出し問題。言葉がわからないから何でも捨ててしまい、近隣との感情的な摩擦になってきて、收拾がつかなくなっていく。こういった点からも、将来的な問題ではあるが外国人の子どももの育成も考えないといけない。

【中原委員】

スマホに関して、見えない人を信用してしまう問題がある。この問題にかかわる重大事件が生じている。この点について、来年度のリーフレットに入れ込んだほうが良いと思う。子どもだけでなく、大人、親に向けて発信していったほうが良い。

【清水委員】

子ども、大人も含めてだが、物ごとを言葉で伝える際、言葉の裏側に含まれる思いまで汲み取って理解することが難しい人が増えてきている。いわゆるソーシャルスキルの低下が問題になっている。たとえば、「おはよう」の裏には、「頑張っているね」といった気遣いの意味があるが、今、あいさつをしようと言っても、ただあいさつをするだけで、この気遣いの意味合いまで伝わらない。

この問題が、スマホの知らない他人を信じてしまう問題にリンクしている。スマホはわかりやすいし、面倒くさくない。

リーフレットを作る際には、こういった対象に配慮し、言葉とその言葉の裏側にある意味合いも含めて表現しないといけないと思う。

(2) 令和2年度(2020年度)重点目標の方向性(案)

資料に基づき事務局から説明

【清水委員】

基本的には、3つの行動方針とも良いが、特に3つ目のあいさつの問題について、大人から子どもへのあいさつが本当に少ないと感じている。

「早く来たね」という気遣いが含まれている「おはよう」を大人から子どもに伝えることは重要だと思う。

子どもにあいさつをさせるのではなく、大人があいさつすることで、子どもがあいさつしたがる環境をつくることは重要だ。

【中原委員】

あいさつは重要だと思う。

【清水委員】

スマホの問題にしても、大人向けにスマホとの向き合い方に焦点を当てたメッセージはいいと思う。というのも、子どもの使い方にあれこれ言っても、保護者はどうなのと言う問題になってくるので、必要だと思う。

【内田委員】

スマホの問題について、保護者向けに、いままでのような優しい表現ではなく、もう少し強い表現にしたほうが良いと思う。

【内田委員】

あいさつに関して、地域でのあいさつも良いが、まず家庭内でのあいさつの啓発も必要ではないか。

【福島委員】

思いやりの心の部分について、たとえば「思いやりの心がないとどのような状態になるのか」といった当事者意識をもつような表現を盛り込んだほうが、伝わりやすいのではないか。

【清水委員】

「いえいく」の部分の表現について、抽象的なものではなく具体的な内容と手だてが重要。これがないときれいな言葉だけで終わってしまう。

「いえいく」とは何ということに立ち返り、学校教育、地域教育とリンクさせながら、「いえいく」の軸として、家庭内で子どもに身に着けてほしい基本的な生活習慣について盛り込まないと「いえいくとは何？」ということになってしまう。

また、思いやりの心についても同じで、思いやりの心は、相手の立場に立って考えることといった具体的な手立てにつながるような表現が必要になる。

【井上委員】

「いえいく」と「できることからやってみよう」がつかない。何をすればよいかイメージできない。

【中原委員】

「いえいく」の箇所については、家庭で響くような表現、内容にしないといけない。

【内田委員】

「いえいく」が八王子発信ということで、いい言葉だと思うが、「いえいく」という言葉がわかりにくい。それが伝わるような表現・内容にしてほしい。たとえば、「いえいく」の後ろに括弧で家庭教育と記載するとか説明する表現が必要だと思う。

【清水委員】

「いえいく」ということに否定的なわけではない。「いえいく」と聞いて、どこの家庭でも行っている家庭教育が3つぐらいパッとでてくるような感じでよい。

たとえば「家庭内のあいさつ」「朝ごはんを食べよう」のように発達段階にかかわらず、どこの家庭でもやっていることを取り上げれば良いと思う。

【金子委員】

親の自覚を促すような内容、子は親を見て育つことを感じてもらうような内容が盛り込まれると良い。

→その他、委員から特に意見等なし。

決定事項

検討会として内容について了承。

委員からの意見を踏まえた事務局案を次回提案することとした。

6 情報提供

(1) 最近の青少年の非行情勢について

南大沢警察署生活安全課長代理 比嘉委員から口頭説明
→委員から特に意見等なし。

(2) 「夏休み子どもを取り巻く事故・犯罪ゼロ作戦」の実施について

生活安全部防犯課長 福島委員から資料に基づき説明
→委員から特に意見等なし。

(3) その他

《情報提供等》

特になし

第2回検討会の開催について

事務局より説明

日時 令和元年（2019年）11月29日（金） 午前10時～12時 市役所8階805会議室